

地域支援員をご活用ください！



○地域支援員とは～（札幌市委託事業）

障がいのある方の見守り活動などを通して、町内会・民生委員・地域住民・行政・サービス事業所などと連携して、障がいのある方の支援を行う相談員です。

※市内 20 ヶ所の障がい者相談支援事業所のうち、
各区に 1 名ずつ 10 名の地域支援員が配置されています。



○こんな相談ができます！

色々な障がいや福祉制度、支援の方法について知りたい！

障がいの理解・普及啓発

⇒町内会や地域の団体等から研修や勉強会等の講師の依頼があればお受けいたします。

福祉の支援につながっていない、近所の障がい者が心配だ！

地域の障がい者への支援

例）・80歳の高齢者と50歳・引きこもりの息子さんの二人暮らし。

・一人暮らしで家族とも疎遠、支援も利用していない障がいのある方。等々

⇒ご本人にとって今は「まだ支援は必要ない」と感じている場合もありますが、孤立や将来への不安を抱えている方や世帯などについて、ともに備えを考えていくことができます。

家族が高齢化して、いざというとき孤立し、本人から助けを求めることができない、といった事態を予防するため、早めのご相談をお寄せください。

災害が起きたときに近所の障がい者や高齢者をどう助けたらいいの？

災害対策

⇒緊急時には、いわゆる「災害弱者」が逃げ遅れたり、孤立したりすることが心配されます。

突然の災害に対応するためには、日頃からの協力体制が大切です。

地域に暮らす障害のある方と地域住民の方々との関係づくりのお手伝いをいたします。

どこに相談したらいいの？専門の窓口が縦割りでわかりにくい！

関係機関との連携

⇒まずはご相談ください。ご相談内容によって、必要な関係機関をご紹介しますり、連携して対応することも可能です。福祉関係や地域の会議等へ参加も、お声がけをください。地域の団体や行政機関、関係機関とのネットワーク作りもしていきます。

相談先は裏面に↓



地域支援員の配置事業所

お住まいの区の事業所にご相談ください！

区	相談室名	住所	電話番号
中央	地域生活支援センターさっぽろ	中央区大通西 19 丁目 WEST19 5 階	622-1118
北	相談室ぽらりす	北区北 21 条西 5 丁目 1-32-202	757-1871
東	相談室セーボネス	東区北 41 条東 15 丁目 3-18-503	748-3119
白石	相談室あゆみ	白石区川北 2254-1	879-5555
厚別	ますとびー	厚別区上野幌 3 条 4 丁目 1-12	299-3856
豊平	相談室みなみ	豊平区平岸 2 条 7 丁目 4-13 4 階	825-1373
清田	相談支援事業所ノック	清田区真栄 1 条 2 丁目 1-28	378-4244
南	ほっと相談センター	南区川沿 2 条 2 丁目 5-37	572-2220
西	相談室すきっぷ	西区宮の沢 1 条 4 丁目 7-20-403	676-0101
手稲	相談室こころていね	手稲区曙 11 条 1 丁目 7-7	685-8332

地域や関係機関と連携して対応します！

社会福祉法人アンビシャス 相談支援事業「相談室すきっぷ」

ピアサポーターのご紹介



ピアサポーターとは？



ピアサポーターの「ピア」とは「同じ立場」「対等」という意味を持つ言葉です。札幌市の相談支援事業所に配置されているピアサポーターは、さまざまな障がいがある当事者が、自らの経験・体験をもとに、障がいのある方や関係者などのニーズに応じて相談支援事業所のスタッフと共にサポートを行う相談員です。

自己紹介

すきっぷでは身体・精神障がいのあるピアサポーターが活躍しています！

【山内 未佳さん】

はじめまして！！障がいは脳性まひです。過去には下宿暮らしを経験しています。2018年中には1人暮らしを予定しています。2016年から「すきっぷ」に登録している新米です。自立生活などでの悩みや、お仕事のこと、日頃のこと（例えば：親若しくは兄弟・姉妹・親戚が亡くなった時、自分はどうかするのか、どうしたいのか）を、話してみませんか？出来る範囲で、対応させていただきます。相談者はご本人（男女問わず）ご家族、支援員でも構いません。相談種別は身体となっていますが、身体じゃなくても大丈夫です。話の内容によっては、該当する相談室をご紹介することがあると思いますが、ご理解をしていただけると幸いです。最後に一言：おひとりりで抱え込まないでください。

【菊地 信（まこと）さん】

1958年生まれ。ポリオによる四肢体幹マヒで、車いすで生活しています。小学校入学から親元を離れて22歳まで施設暮らしをしていました。就職と同時に地域で一人暮らしを始め、今日に至っています。一般就労で35年間働き、2018年春に退職しました。いつの間にか人生経験だけは長くなったので、経験を相談に活かせればと思っています。

【清原 史浩さん】

脳性まひの障がいがあり私は右足しか使えませんが、一人暮らしは11年になります。ピアサポーターに入った理由は、たくさんの人の声も聞きたくて、悩んでいる人がいたらサポートします。

【高橋 由幸さん】

2013年10月に脳出血で倒れ、言語障がい（失語症）、右半身マヒが残りましたが、少しずつ少しずつ回復し、今でもリハビリを頑張っています。

【たなかさん】

発達障がいがある二児の母です。子供達も発達障がいで、数年前に子供がきっかけで自身の発達障がいを知りました。発達障がいは内容が様々で目に見えにくい為誤解もあり、一人で悩みを抱えている方も多くいらっしゃると思います。当事者、また発達障がいがある子供の親という立場で、じっくり話し気持ち軽くなるお手伝いが出来ればと思っています。

【土屋 晴治さん】

私は精神障がい者で病名は統合失調症です。発達障がいのような、性同一性障がいのような、精神障がい者です。

【松田 瞳さん】

ピアサポーターの仕事を通して学び、相談者が笑顔になれる、ピアサポーターになりたいです。

どのような相談ができるの？

～出張グループ相談～

- ・毎月1回、ピアサポーターと参加者でテーマを決めて話し合いをします。外部から参加される方もいらっしゃいます。
- ・グループでのご相談にこちらから訪問することもできます。

～個別相談～

「自分と同じ立場の人からアドバイスを受りたい」や「同じ立場だからこそ相談しやすい」など、個別のご相談にも応じます。

～講師・講演～

講演会での講師も行っています。また、支援者からのご相談も受け付けています。

ご相談までの流れ

ピアサポーターに話したいこと、聞きたいことなど
まずは相談室すきっぷにお問い合わせください。



相談室すきっぷからピアサポーターにご相談内容をお伝えします。



相談方法については電話・メール・面談など様々な方法がありますので、相談者の希望を汲みながら対応させていただきます。



相談者にご連絡をいたします。

札幌市障がい者相談支援事業 相談室すきっぷ

住所：札幌市西区宮の沢1条4丁目7番20号 輪島ビル 403号室

TEL：011-676-0101 / FAX：011-676-0202

平日：月～金曜日（9:30～17:30）

✉：ambi_skip@s-ambi.jp